

### 取り組み事例(5)「情報公開」による透明性の確保

6号機の原子炉起動準備のようす

6号機格納容器漏洩率検査のようす (動画にて配信)

### 2. 再発防止対策 (その3: 安全文化醸成・定着)

- 「安全最優先」の確認
- 「報告する文化」の醸成
- 「批判的精神と習慣」の醸成
- 「現場の士気と誇り」の高揚
- 「情報公開」による透明性の確保

活動(例) **「STAR」活動の定着化**

を進めている。  
また、昨年の「お詫び訪問」を踏まえて「発電所の行動基準」(ルール遵守、地域貢献、挨拶)を定め、唱和↓行動↓意識改革へ繋げていく。  
③安全文化の醸成・定着

### (当所3号機の例)

- 5年後において、十分な強度を有していると評価されているが、将来補修が必要と予測される「ひび」については除去します。
- 将来にわたり、シュラウドの健全性に影響を与えないと判断される「ひび」は、除去せず経過観察を行います。

### ● シュラウドの「ひび」補修の考え方

|     | シュラウド (ひびの有無) | 再循環系配管 (ひびの有無) | ジェットポンプ (すき間) |
|-----|---------------|----------------|---------------|
| 1号機 | あり            | あり             | 問題なし          |
| 2号機 | あり            | あり             | 問題なし          |
| 3号機 | あり            | あり             | 問題なし          |
| 4号機 | なし            | あり             | 問題なし          |
| 5号機 | 点検中           | 点検中/あり         | 点検予定          |
| 6号機 | なし            | 該当設備なし         | 該当設備なし        |
| 7号機 | なし            | 該当設備なし         | 該当設備なし        |

### ● 点検結果のまとめ

三、当所の点検状況、補修について

### 漏洩率検査の目的

- 格納容器は、万一の事故時に原子炉内の放射性物質を閉じこめる役割
- 漏洩率検査は、格納容器の気密性を確認する国による検査

福島第一1号機の不正 (平成3年、4年)

- 過去の検査を調査し、当所では福島第一1号機のような不正が無かったことを確認済み
- 今後は、社内のチェック体制を強化し、厳正な検査を実施

結果

- 「判定基準0.36%以下」に対して、測定実績は「0.081%」でした。

格納容器漏洩率検査当日(4/14)の様子

### ● 6号機格納容器漏えい率検査

### (当所の対応方針)

- 確認された「ひび」については、配管の取替を実施します。
- 切り出した配管については、超音波検査の改善に資するため、「ひび」の実測等各種の調査を実施します。

### ● 再循環系配管の「ひび」補修の考え方

Q 会への意見(6号機の運転再開について)：①信頼されていない国の安全宣言による運転再開決定は不透明、②市議会への説明もせず、過半数以上の議員連名による要請無視は会の目的達成に危惧、③改良型炉でひび割れが発生した場合の影響を考えると電力で隠しているのでは、④6号機運転再開に意見・疑問を提起できず、説明もない。7号機でも同様なら会の存在意味が無い。

Q 原発推進である商工会議所を会場に選んだ意図は。配慮が足りないのでは。  
A (事務局) 適当な会場が無かったため、特に意図はない。

この説明などについて、委員から次のような質疑応答がありました。

・6号機については、5月9日に発電を開始。  
・今後も様々な機会をとらえて、色々な方法で、事実・実態をご覧いただくことに努めて参りたい。